

カワセミハウス通信



日野市立カワセミハウス
第 1号 2017年 5月10日発行
(次号から1月、4月、7月、10月発行)

日野市立カワセミハウスは旧環境情報センターの機能と地区センター機能を融合して平成29年4月1日に誕生しました。このカワセミハウス通信は日野市の環境に関する情報に加え、カワセミハウスで行われる活動や開催予定の行事・イベントなどの情報を発信していきます。

平成29年4月1日(土) 日野市立カワセミハウス オープン！ オープンを記念して開所式とオープンフェスタが開催されました

日野市立カワセミハウスは旧環境情報センターと地区センターの機能を融合し、日野市らしい豊かな暮らしを創造する拠点、新たなコミュニティづくりの拠点として誕生した複合施設です。この施設は近隣の豊かな緑と水のロケーションを生かし、日野市の宝である身近な自然環境の重要性を広くアピールするものです。

4月1日(土)、日野市立カワセミハウスのオープンを記念して開所式と市民の方々によるオープンフェスタが開催されました。開所式は10時から大坪市長の挨拶に続きカワセミハウスの施設説明、来賓の皆さんの挨拶が行われ、市長や来賓の代表の方々によるテープカットで閉式となりました。環境団体、自治会、カワセミハウス協議会の皆さんなど約100名が参加されました。

オープンフェスタは11時から館内と芝生広場を使って開催されました。オープンセレモニーのあと、ミニコンサート、よさこい演舞、黒川清流公園ミニ観察会などのイベントが行われました。展示コーナーでは写真や切り絵などの作品展示、水車発電機模型展示、緑を考える活動紹介、日野の自然に関するビデオ上映などがあり、またお話しスペース、ドリンクコーナー、野草カフェや焼きそば、わたあめ、ポップコーンなどのお店も出ました。家族連れや年配の方、学生、子どもたちなど幅広い年齢層の方々が大勢参加され、あいにくの雨模様の天気でしたが、工夫をこらした様々な催しものでおおいに賑わいました。また、多くの皆さんからカワセミハウスへの期待の声も聞かれました。



市長や来賓の方々によるテープカット



オープニングセレモニーのくす玉割り



雨の中、大勢の市民で賑わいました

* カワセミハウスの施設概要については最終ページをご覧ください。

「カワセミエコミュージアム」が平成29年4月1日スタートしました

4月1日にスタートした「カワセミエコミュージアム」は、同じく4月1日に誕生した黒川清流公園に隣接するカワセミハウスを中核として、市内各地のフィールドで活躍する市民団体や個人をつなぐネットワークです。

その目的は「ネットワークを通して市民に“社会の中での自然との関わり”を理解してもらい、その意識を広げていくこと」です。

活動のイメージは、カワセミエコミュージアムフェイスブックのページを立ち上げ、ここに個人や団体からの記事の投稿や関係団体のフェイスブックページの相互フォローなどを行うことで情報の拡散を図ります。このようなSNSを利用した環境団体の横のつながりの構築や機関誌の発行などを通して日野市全体の環境意識の共有を目指します。



カワセミエコミュージアムアイコン

皆さん、「カワセミエコミュージアム」を一緒に作りあげていきませんか？

まず「カワセミエコミュージアム」への登録用紙を記入しカワセミハウスに提出してください。登録用紙はカワセミハウスにあります。フェイスブックを利用している方は「カワセミエコミュージアム」を“フォロー&いいね”してください。利用していない方はパソコンやスマホでフェイスブックに登録し「カワセミエコミュージアム」を“フォロー&いいね”してください。詳しくはカワセミハウスにお問い合わせください。



平成29年1月14日(土) 第8回日野市環境フェアが開催されました

「ふだん着でCO₂をへらそう事業」の一環として、省エネ・省資源の大切さを多くの方々に知っていただくため毎年開催している日野市環境フェアも今年で8回目の開催となりました。今回の環境フェアはイオンモール多摩平の森の3階イベントホールで開催し、親子連れの家族など多くの方が来場されました。

環境フェアではより多くの方に、また幅広い世代に環境の大切さを知ってもらえるように、毎年工夫を重ねています。今回はエコアラ・エココマとごみゼロマンによる「省エネ啓発ショー」を行い、子供たちにもわかりやすいストーリーで省エネの大切さを伝えるとともに、大迫力のアクションシーン、最新のギャグを取り入れたネタなど、子どもたちはもちろん大人でも楽しめる内容で大変好評でした。



実行委員会小倉会長のあいさつ



キャラクターによる省エネ啓発ショー

また、市民による「省エネへの取り組み」の発表や日野第一中学校による「緑のカーテン作り」の発表はどれも素晴らしい内容で、来場された皆さんも思わず聞き入ってしまうほどでした。

この他にも省エネグッズの抽選会や日野の自然のお話とカブトムシの幼虫プレゼント、さらには食品ロスを減らすための啓発活動など、環境に関するメニューが盛りだくさんでした。



市民の皆さんによる省エネ取り組み発表会

日野市の野鳥たち (その2) ~夏鳥~

日野市立カワセミハウス 村岡明代

日野市には何種類の野鳥がいるのでしょうか。ちょっと難しい質問ですが、「日野市で過去に1度でも確認されたことのある鳥」ということでお答えすれば、日野市が行った「生物多様性地域戦略基礎調査(平成27年度)」で、これ以前に公表された9つの文献により日野市内で確認されている鳥類は217種とあります。このデータを更に2つの文献で補完した結果、日野市内で確認されている鳥類は218種(2016年10月現在)です。このリストから、個人的な観点ですが「ほぼ毎年見られる鳥」を抽出すると、留鳥(1年中いる鳥)が40種、夏鳥(夏になると外国から渡ってくる鳥)が9種、冬鳥(冬になると外国から渡ってきたり高い山から下りてくる鳥)が32種でした。つまり、夏で約50種、冬で約70種の野鳥が、日野市で暮らしているということになります。

夏になると南の国から渡ってきて日本で繁殖する鳥を「夏鳥」といいます。夏鳥のうち山地や関東以北で繁殖するものは、4月下旬~5月上旬頃に市内の緑地を通過していきます。日野市内で繁殖する夏鳥はそれほど多くありませんが、代表的な種をいくつかご紹介します。

ツバメ(スズメ目ツバメ科)

毎年3月下旬頃、越冬地の東南アジアから渡ってきます。家の軒先など人の生活圏に営巣し、人間の活動を利用して巣を外敵から守っています。飛行能力に優れ、飛んでいる虫を空中で捕えて餌とします。尾羽は二股に分かれ外側の羽が特に長く、これがいわゆる「燕尾」と呼ばれるものです。



イワツバメ(スズメ目ツバメ科)

ツバメの仲間、ツバメと同じように渡ってきます。本来の営巣場所はその名の通り岩場でしたが、環境に適応して橋や高架下などに巣を作るようになりました。ツバメと違って集団で営巣し、巣の形も、お椀を上貼り付けたような形です。ツバメより少し小さく尾羽も短めで腰が白いのが特徴です。



(写真提供：小久保雅之)

コシアカツバメ(スズメ目ツバメ科)

ツバメの仲間、人の近くで営巣しますが、市内での営巣場所は限られています。巣の形は、徳利を縦に2つ割りにしたような面白い形をしています。ツバメよりやや大きく、腰の部分が赤茶色なのが特徴です。



オオヨシキリ(スズメ目ヒタキ科ウグイス亜科)

4月頃から河原のヨシ原に渡来し、繁殖します。スズメよりやや大きく、背面は黄褐色、腹面は白っぽい色をしています。オスはヨシの茎などに直立してとまり、大きな口を開けて「ギョギョシ、ギョギョシ」と囀ります。



コチドリ(チドリ目チドリ科)

4月頃から主に河川に渡来し、繁殖します。小石や砂混じりの石河原を好み、地面に直接卵を産みます。石河原の中でじっとうずくまっていると、灰色の背中が周囲に溶け込んでなかなか見つけれません。チドリ類の中では最も小さく、スズメより少し大きいぐらいです。



平成28年度「エコキング冬」の調査結果がまとまりました

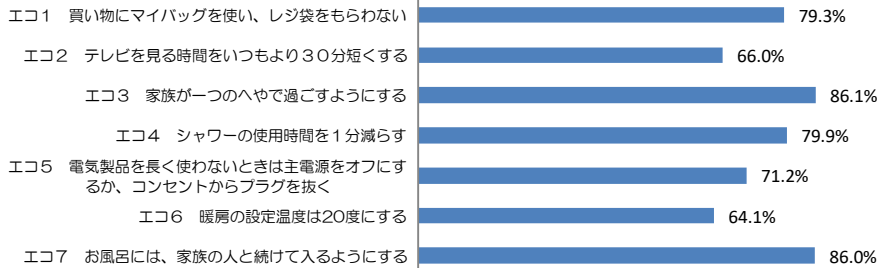
平成28年度「エコキング冬」の調査結果がまとまりました。「エコキング」とは、市内の全小学校にご協力いただき、小学生のいる家庭の夏と冬の“ある1日”のエコ活動を通して、CO₂がどれくらい削減されるかを調査するものです。日野市環境基本計画推進会議CO₂グループ主催で平成18年からスタートし今年で11年目です。

平成28年度冬の調査は12月10日（土）の1日間のエコ活動について調べました。市内の小学生7,187人が参加、下記の7つのエコ活動の家庭での実施状況を知りました。調査の集計結果をみると、全学校計でエコ活動の実施率が最も高かったのは「エコ3：家族が一つのへやで過ごすようにする」で86.1%、次いで「エコ7：お風呂には、家族の人と続けて入るようにする」86.0%とほぼ同率で続きます。最も低かったのは「エコ6：暖房の設定温度は20度にする」で64.1%でした。12月の前半は暖かい日が続き、まだ暖房を使っていない家庭も多かったようです。

7つのエコ活動の実施者数にそれぞれの活動で削減されるCO₂の量をかけて算出した12月10日の1日間で削減されたCO₂の総量は全学校計で2,703,446g、テニスコート約10.8面分※の森林が1年間に吸収するCO₂の量に相当します。もし12月10日のエコ活動を1年間続けるとすると、テニスコート約3,947面分（これは市役所の前にある日野中央公園22,849㎡の約86個分に当たります）の森林が1年間に吸収するCO₂が削減されることとなります。日々の生活の中での小さなエコ活動の積み重ねがCO₂の削減に大きな効果があり、ひいては地球温暖化の防止にもつながります。

※テニスコート1面（約500㎡）当たりの森林が1年間に吸収するCO₂の量250kgで換算

平成28年度「エコキング冬」
7つのエコ活動実施率
—全小学校計—

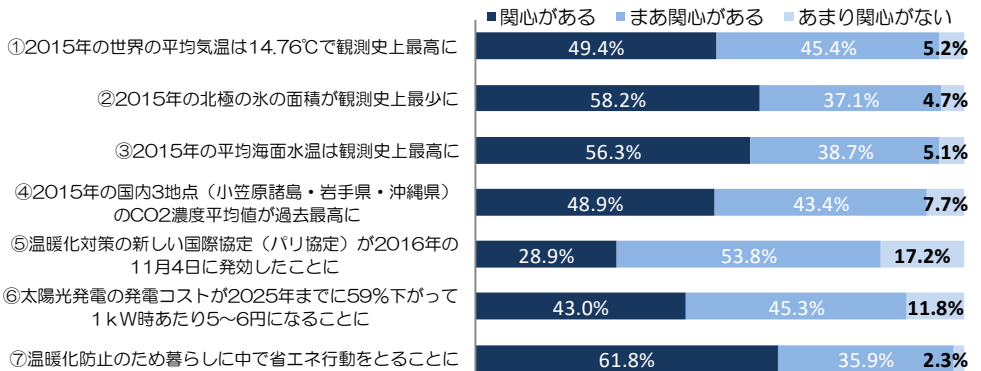


市内小学生の保護者の方々を対象とした

CO₂グループ主催「地球温暖化についてのアンケート」結果の報告です

今回の「エコキング冬」のアンケート（12月10日実施）では、同時に保護者の方々を対象とした「地球温暖化についてのアンケート」も実施しました。最近の地球温暖化についての様々な報道について皆さんの関心度合をお聞きしました。この調査も日野市環境基本計画推進会議CO₂グループの主催です。

アンケートに答えていただいた保護者の方は4,430人。内訳は女性30代以下1,462人、女性40代以上2,458人、男性510人でした。下記のグラフは全体4,430人の回答を集計した結果です。



○地球温暖化についての関心度は高く、7項目中5項目で「関心がある」「まあ関心がある」合わせて90%を超えました。女性では全項目で30代以下より40代以上の関心度が高く、男性では⑦以外の項目で「関心がある」と答えた方が女性より多かったのが目立ちます。

○最も関心度が高かったのは⑦「温暖化防止のため暮らしの中で省エネ行動をとること」で「関心がある」「まあ関心がある」合わせて97.7%でした。男女ともに関心度が高く、女性の40代以上で98.6%と最も高くなっています。

○最も関心度が低かったのは⑤「温暖化対策の新しい国際協定（パリ協定）が2016年11月4日に発効したこと」で82.7%でしたが、「関心がある」をみると女性28.1%に対し男性35.1%と男性が高くなっています。

■1月～3月の活動報告(旧環境情報センター)

1月28日(土) みんなの環境セミナー「風力発電機をつくって地球温暖化をふせよう！」開催

1月28日(土) 10:00～11:30開催、環境基本計画推進会議CO2グループ主催。かわせみ館2階の会議室を会場にしてグループ代表の彦谷氏の指導でペットボトルを使った風力発電機を親子で作りました。地球温暖化についても気温の変化や異常気象、CO2排出量などに関するクイズを楽しみながら学びました。参加者は親子8名(親4名、子供4名)でした。

1月29日(日) みんなの環境セミナー「親子で楽しむ野鳥かんさつ」開催

1月29日(日) 9:30～12:00、黒川清流公園で開催。環境情報センター主催。講師は日野の自然を守る会の金子凱彦氏、小久保雅之氏、センタースタッフ村岡さんです。親子対象に初心者でもわかりやすく楽しい野鳥観察を行いました。参加者は親子6組15名(大人9名、子供6名)。清水谷公園でカワセミやアトリを、また黒川清流公園の池では子どもたちと「カモピンゴ」をやりながら、カルガモなどを観察しました。参加者には「私たちの日野市の野鳥」冊子や手作りの野鳥缶バッジをプレゼント、子ども連れて参加したお父さんやお母さんも楽しんでいました。

○平成28年度のみんない環境セミナーは第93回～第102回の計10回開催、参加者は市民環境大学と雑木林ボランティア講座の公開講座(計4回)に参加した講座生を含め合計214名でした。

カワセミハウスオープンニングシンポジウム「黒川清流公園の自然」開催

5月6日(土) 13:00～16:40、水と緑の日野・市民ネットワーク主催によるカワセミハウスオープンニング記念シンポジウム「黒川清流公園の自然 シリーズ⑥かこ・いま・これから」が開催されました。会場は日野市立カワセミハウス集会室です。元多摩動物公園長で日本ではじめて昆虫館を創った矢島稔氏による基調講演「実物を見る大切さ」からスタートし、休憩をはさんで日野の自然を守る会や緑湧会、環境基本計画推進会議みどりグループのメンバー6名による日野の緑地管理や保全活動の歩みに関するパネルディスカッションが行われました。市民の方々、約100名が参加されました。

6～7月の行事・イベント予定

6月18日(日) みんなの環境セミナー「駅のツバメ」

日野の自然を守る会の金子凱彦氏を講師に迎え、豊田駅や日野駅で巣作りをしているツバメの観察を通して街で暮らすツバメの生態を探り、ツバメにやさしいこの街の魅力を再発見します。先着30名。6月15日発行の広報「ひの」でお知らせします。

7月6日(木) みんなの環境セミナー「黒川清流公園の夏を探そう！」

市民環境大学の公開講座。初夏の黒川清流公園で湧水や雑木林の草花などを観察し、豊富な湧水の成り立ちや雑木林の大切さを楽しく学びます。先着20名。講師は東京農工大学教授小倉紀雄氏です。6月15日発行の広報「ひの」でお知らせします。

7月下旬みんなの環境セミナー「黒川清流公園で昆虫採集をしよう！」

黒川清流公園で昆虫採集をして日野の昆虫たちについて学びます。講師は日野の自然を守る会の森川正昭氏。先着で親子10組。7月1日発行の広報「ひの」でお知らせします。

7月下旬 カワセミハウス写真展「日野市の昆虫たち」

日野の丘陵地や河川敷に生息する昆虫たちの生態を、日野の自然を守る会の森川正昭氏が撮影した迫力ある写真で紹介し、会場はカワセミハウスです。7月1日の広報「ひの」でお知らせします。

★カワセミハウス施設概要★

開館時間：9:00～21:30

休館日：毎週月曜日、年末年始(月曜日が祝日の場合はその翌日)

情報発信ラウンジ：環境・地域のコミュニティの場や、散策時の休憩所としてご利用できるフリースペース

オープンキッチン：IHクッキングヒーターやオープンレンジを常備

集会室：会議等で利用できる集会室3室(各室約30名収容)

パーティションを取り払うことで大きな部屋として使用可能
その他、授乳室、芝生広場もあります。

カワセミハウスは地域のコミュニティの場として集会室や情報発信ラウンジ等をご活用いただくことができます。

申請方法：使用日の属する月の3か月前の1日(各月最初の開館日)から使用当日までにハウス窓口に使用申請書を提出

*電話での仮予約も可能ですが仮予約後7日以内に窓口申請が必要です。

使用料：集会室1・2・3とも

午前(09:00～12:00) 300円

午後(13:00～17:00) 400円

夜間(18:00～21:30) 350円

全日(09:00～21:30) 1,050円

*集会室は1室ごとの料金です。

*環境市民団体や自治会等は使用料が減免になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

*集会室以外は無料で利用できます。

発行 日野市立カワセミハウス

〒191-0052 東京都日野市東豊田3-26-1

Tel/fax:042-581-1164

Eメール:kawasemihouse@jcom.zaq.ne.jp